

第四期板橋区子ども読書活動推進計画

# 第 2 回検討委員会資料

# 目次

## (1) 前回会議の振り返り

## (2) 現状までの意見まとめ

## (3) 各基本方針に関する施策の検討

- ① 子どもと本の出会い・自主性の育成をサポートする手法と人材活用
- ② ティーンズ世代に有効な取組
- ③ 読書バリアフリー法を踏まえた利用しやすい図書館環境／  
新しい技術を用いた先進的な図書館像

## (4) 「絵本のまち板橋」の視点を踏まえた読書推進

## (5) その他

# **（１） 前回会議の振り返り**

## 前回会議で挙げた主な意見

- 朝読書や異年齢での読み聞かせ活動が効果的。
  - 中学生の読書離れは他の興味への移行が原因。
  - 乳幼児期からの読書支援、保護者や大人へのアプローチが重要。
  - ブックスタートの配付率向上が課題。
  - ブックスタートの本を渡すだけでなく、本を読む時間の支援が必要。
  - 学校図書館と学校司書の役割は大きい。本を手渡す人の存在が大切。
  - 読書の楽しい記憶づくりが重要。
  - 次のステップにつながる読書機会の創出が必要（絵本から幼年童話へ）。
  - 本の面白さを伝え合う機会を増やすことが有効。
- 「基本方針1」「基本方針2」に対する意見を多くいただいた。
  - 第2回の会議では、「基本方針3」及び「絵本のまち板橋」のブランド戦略も含めて意見をいただき、計画策定につなげていく。

## **（２）現状までの意見まとめ**

子どもの視点に立った  
取組を実施し、  
読書の習慣化をめざす

### 1-① 読書への興味喚起

- ・ 子どもから子どもへの読み聞かせ
- ・ 読書の楽しい記憶づくり
- ・ 目に見えるご褒美
- ・ アウトリーチ型の取組

### 1-② 自主性の育成

- ・ 読書後のアウトプットの機会
- ・ 子どもによる事業企画
- ・ 読書活動へのポイント授与

### 1-③ 価値ある知識に 出会える環境の設定

- ・ 絵本から幼年童話への移行サポート
- ・ 読書が苦手な子どもへのアプローチ
- ・ 子どものニーズ把握とレファレンスの充実

※下線  
は前回  
会議で  
意見が  
あった  
項目

身近な人々の協力によっ  
て、子どもが自由に本と  
触れ合える環境をつくる

### 2-① 乳幼児期の 読み聞かせの推進

- ・ ブックスタート配付率向上と  
事業拡大
- ・ 普段訪れる場所でのイベントや  
展示

### 2-② 小中学校・幼稚園・ 保育園における 読書環境の充実

- ・ 学校司書から本を手渡す
- ・ 学級文庫、学校の廊下など図書館  
以外の場所の活用促進
- ・ 学校の状況に合わせた定期的な読  
書時間の設定

### 2-③ 子どもと本を つなぐための 地域での取組を推進

- ・ 地域コミュニティ及び地域企業との  
連携

多様な子どもたちに適応した  
読書に関する制度・施策を  
整備する

(読書バリアフリー法の考え方を含む)

### 3-① 多様なニーズに 対応した資料の充実

- ・ 図書館から学校へ資料や機器提供
- ・ 外国語を母語とする方への対応

### 3-② 新しい技術を導入した 読書環境の整備及び 図書館の使い方を提供

- ・ 電子図書館の授業活用と周知

### 3-③ 安心して学べる場の提供と デジタルリソースへの アクセスの確保

- ・ 周囲を気にせず利用できる時間と  
場所の確保
- ・ 読書バリアフリー研修の実施

# **（３） 各基本方針に関する 施策の検討**

# 基本方針 1

## 子どもの視点に立った取組を実施し、読書の習慣化をめざす

### 1-① 読書への興味喚起

#### 既存の取組

- ・ おはなし会などでの読み聞かせ
- ・ 館内イベント（小中学生向け絵本づくりワークショップ・子ども絵本展等）
- ・ 乳幼児・小中学生・ティーンズに向けた館内展示

#### 意見

- ・ 子どもから子どもへの読み聞かせ
- ・ 読書の楽しい記憶づくり
- ・ 目に見えるご褒美
- ・ アウトリーチ型の取組み

### 1-② 自主性の育成

- ・ 子ども司書制度
- ・ 1日図書館員事業
- ・ 読書通帳の活用
- ・ いたばし国際絵本翻訳大賞（中学生部門）

- ・ 読書後のアウトプットの機会
- ・ 子どもによる事業企画
- ・ 読書活動へのポイント授与

### 1-③ 価値ある知識に 出会える環境の設定

- ・ 区立の児童館・保育園・幼稚園の読書コーナー充実
- ・ 区立図書館の乳幼児・小学生・ティーンズ向け蔵書の充実
- ・ おすすめ本リストの作成・紹介
- ・ ボローニャ・ブックフェアinいたばし

- ・ 絵本から幼年童話への移行サポート
- ・ 読書が苦手な子どもへのアプローチ
- ・ 子どものニーズ把握とレファレンスの充実



# 基本方針 1

子どもの視点に立った取組を実施し、読書の習慣化をめざす

## 1-① 読書への興味喚起

## 1-② 自主性の育成

## 1-③ 価値ある知識に 出会える環境の設定

既存の取組

【参考資料 2 ページ】



### 【読み聞かせ】

図書館や区内施設・イベントで、図書館職員や図書館サポーター等が絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングを行っている。



### 【館内展示】

アドベントカレンダー方式の本の紹介展示。  
子どもが本を手にとりやすいよう季節やテーマに応じた展示を行っている。

# 基本方針 1

子どもの視点に立った取組を実施し、読書の習慣化をめざす

1-①  
読書への興味喚起

1-②  
自主性の育成

1-③  
価値ある知識に  
出会える環境の設定

既存の取組

子ども司書の活動

【参考資料 3・4 ページ】



【おはなし会での読み聞かせ】  
子ども司書と幼児との交流が生まれ、参加した保護者からは、「今日はお姉さんが読んでくれたと子どもが喜んでいった」といった感想をいただいた。



【私のひと棚絵本図書館】  
牛乳パック等の身近な素材を使った小さな本棚を作成。自分で決めたコンセプトに沿ったおすすめの絵本10冊をセットし、「いたばし子ども絵本展」で展示した。

# 基本方針 1

子どもの視点に立った取組を実施し、読書の習慣化をめざす

## 1-① 読書への興味喚起

## 1-② 自主性の育成

## 1-③ 価値ある知識に 出会える環境の設定

既存の取組

大学連携

【参考資料5ページ】



### 【おすすめ絵本の紹介POP展示】 (東京家政大学)

学生が作ったおすすめ絵本の紹介POPを中央図書館児童コーナーで展示。



### 【物語づくりワークショップ】 (淑徳大学)

学生が小学生とともに、オリジナルカードを使って「夢」と「空想」をテーマに物語づくりを行った。

# 基本方針 1

子どもの視点に立った取組を実施し、読書の習慣化をめざす

## 1-① 読書への興味喚起

## 1-② 自主性の育成

## 1-③ 価値ある知識に 出会う環境の設定

### 【施策の展開】

- ✓ アウトリーチ型事業の拡充
- ✓ 子どもの興味、特性に合わせた本の紹介
- ✓ 子どもによる事業企画・実施
- ✓ 子どもが読書後にアウトプットする機会の拡充（ビブリオトーク・ひと棚図書館作成など）



### 【今日のテーマ①】

## 子どもと本の出会い 自主性の育成をサポートする 手法と人材活用

- 手法：アウトリーチ型のアプローチ等
- 人材：図書館サポーターや大学連携の展開  
子ども司書など子ども同士での展開  
子どもの読書推進に必要な人材



## 基本方針 2

身近な人々の協力によって、子どもが自由に本と触れ合える環境をつくる

### 2-① 乳幼児期の 読み聞かせの推進

#### 既存の取組

- ・ 保護者への読み聞かせのレクチャー
- ・ ブックスタートの実施
- ・ 親子をターゲットとしたイベント
- ・ 小さな絵本館

#### 意見

- ・ ブックスタート配付率向上と事業拡大
- ・ 普段訪れる場所でのイベントや展示

### 2-② 小中学校・幼稚園・保育園 における読書環境の充実

- ・ 学校における本の利用機会
- ・ 本を手に取りやすい環境づくり
- ・ 定期的に読書の時間を設ける

- ・ 学校司書から本を手渡す
- ・ 学級文庫、学校の廊下など図書館以外の場所の活用促進
- ・ 学校の状況に合わせた定期的な読書時間の設定

### 2-③ 子どもと本をつなぐための 地域での取組を推進

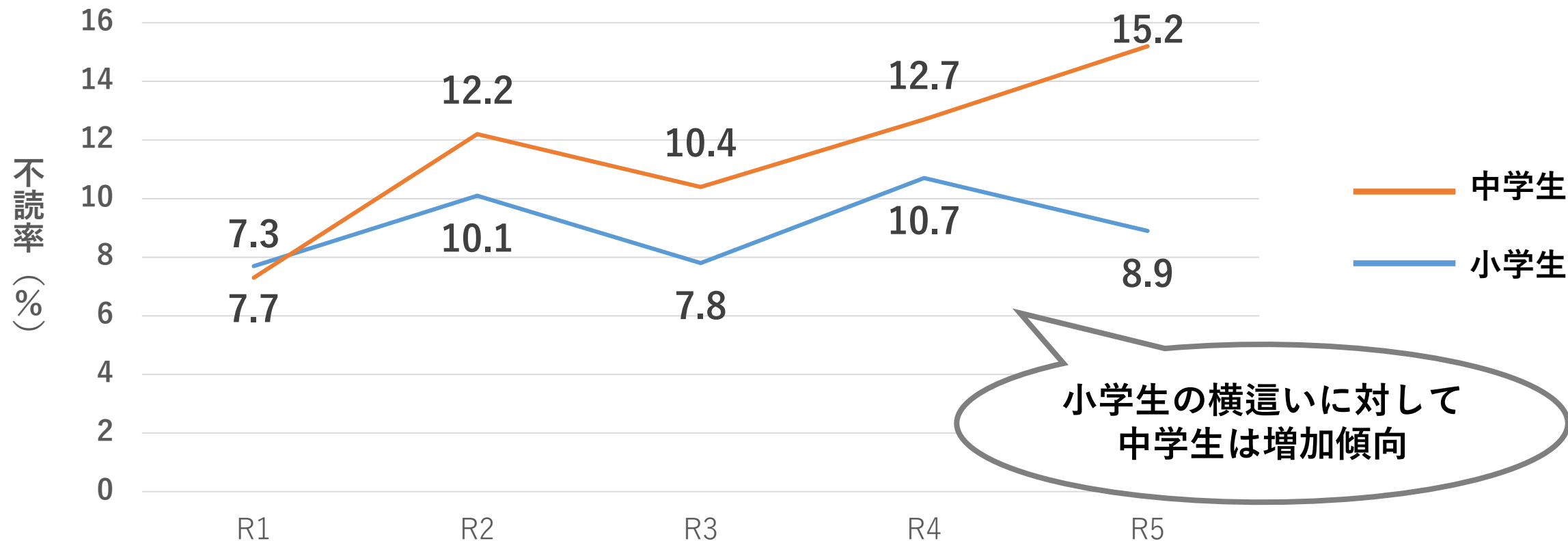
- ・ 人が集まる場所で読書のきっかけとなるイベント
- ・ こども食堂での読書イベント
- ・ 保護者同士の交流・情報交換など

- ・ 地域コミュニティ及び地域企業との連携

## 基本方針 2

身近な人々の協力によって、子どもが自由に本と触れ合える環境をつくる

### 中学生と小学生の不読率推移の比較



➡ 増加傾向が顕著な中学生を検討する

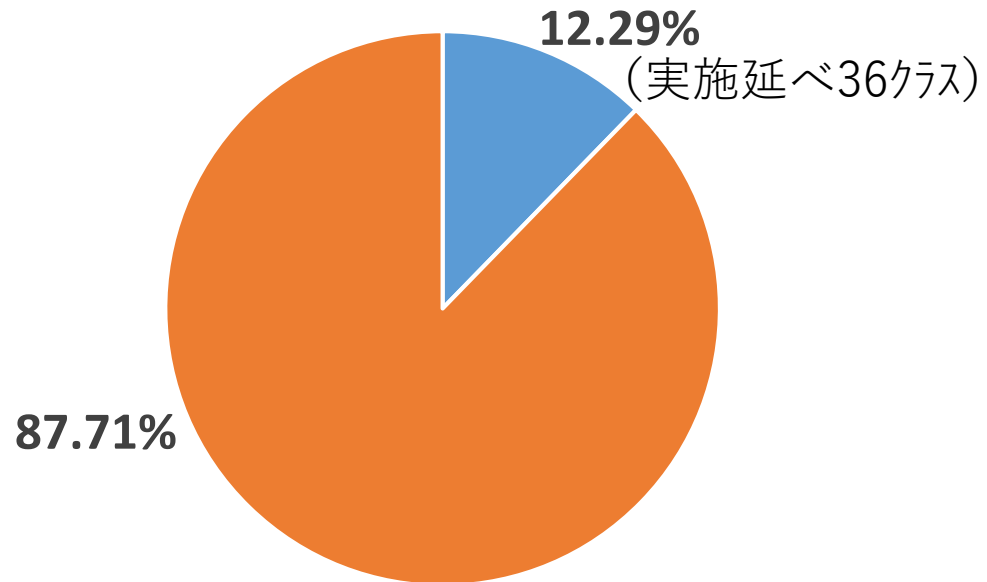
## 基本方針 2

身近な人々の協力によって、子どもが自由に本と触れ合える環境をつくる

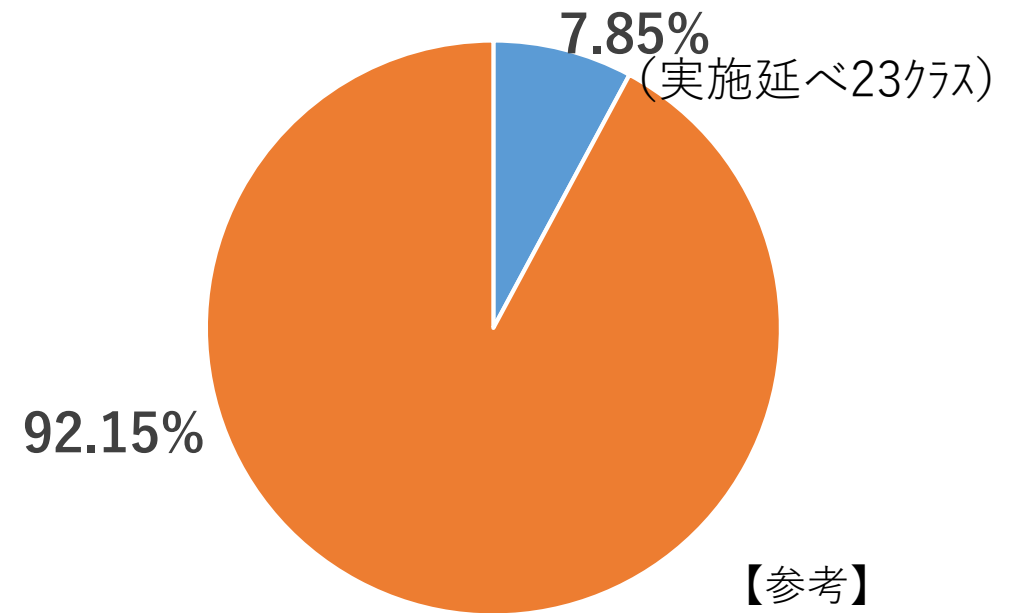
### 令和5年度区立中学校全体に対する主な取組実施の割合

図書館職場体験

【参考資料7～9ページ】



団体貸出



【参考】

令和5年5月1日現在

学級数 293クラス

生徒数 9,343人

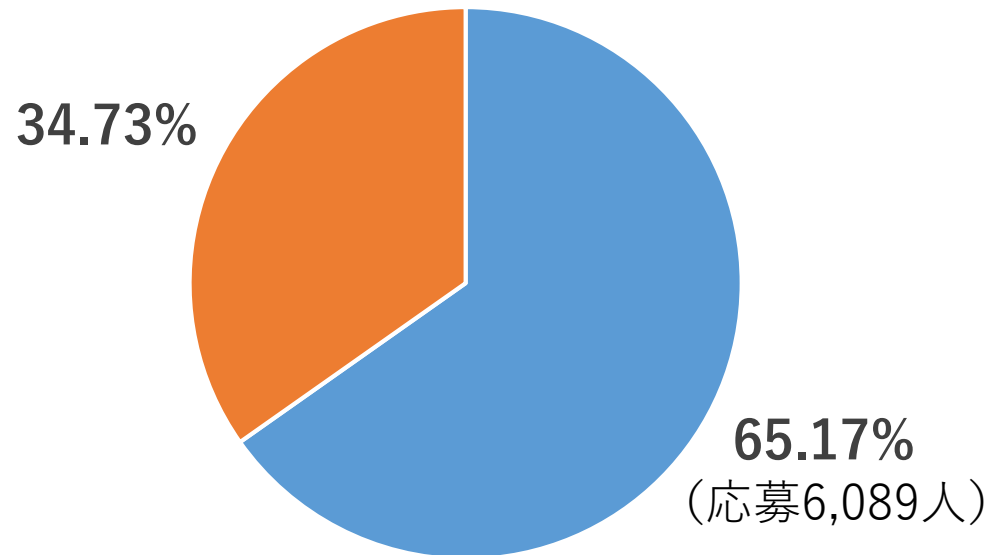
※特別支援学級含む

## 基本方針 2

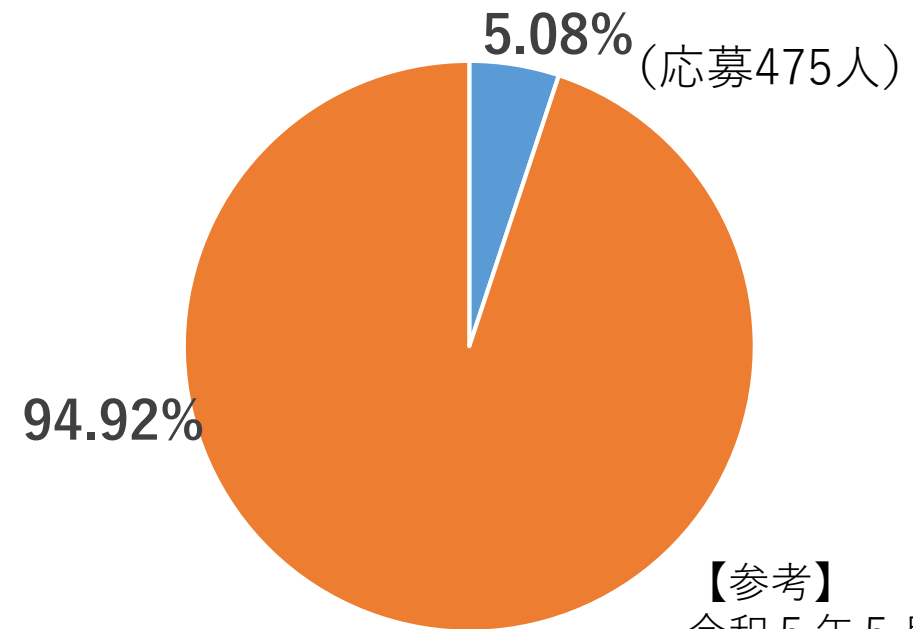
身近な人々の協力によって、子どもが自由に本と触れ合える環境をつくる

### 令和5年度区立中学校全体に対する主な取組実施の割合

読書感想文コンクール



いたばし国際絵本翻訳大賞



【参考】

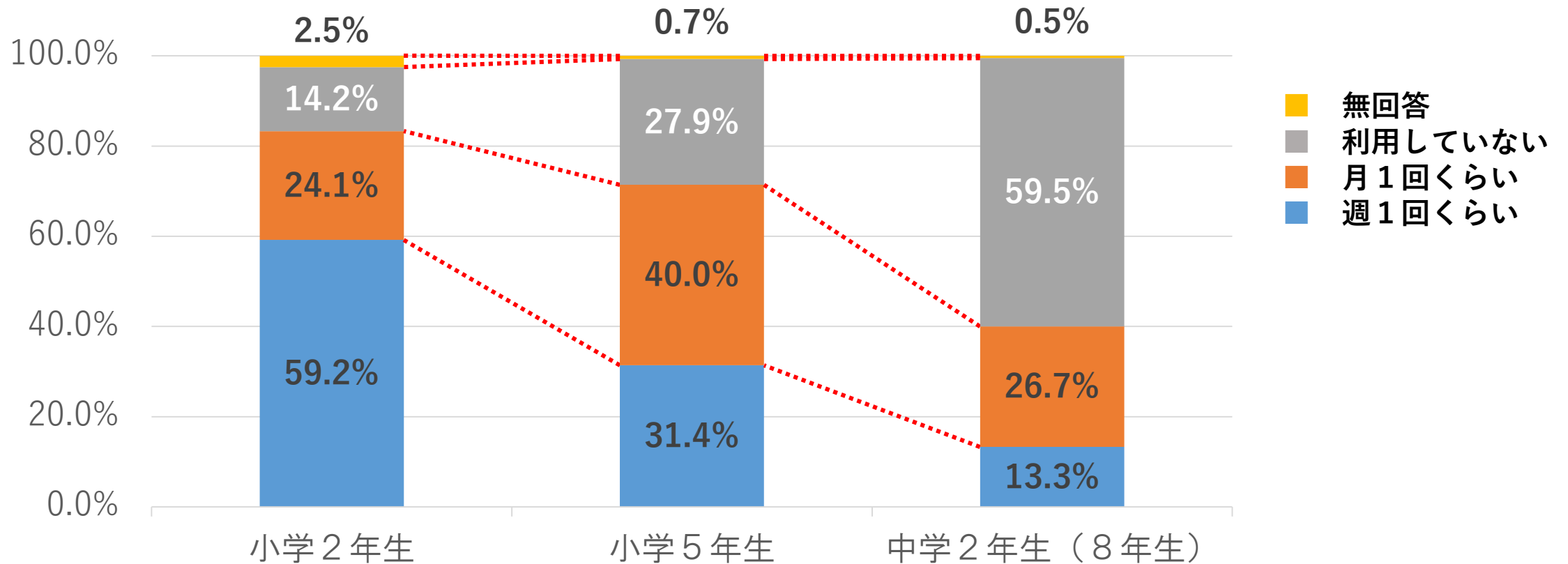
令和5年5月1日現在  
学級数 293クラス  
生徒数 9,343人  
※特別支援学級含む



## 基本方針 2

身近な人々の協力によって、子どもが自由に本と触れ合える環境をつくる

### 令和5年10月から半年間の学校図書館利用状況



## 基本方針 2

身近な人々の協力によって、子どもが自由に本と触れ合える環境をつくる

### オープンな学校図書館

子どもたちが多く行き来するオープンなスペースに本棚を設置し、自然と本に触れやすい環境を備える学校図書館。

令和4年4月に改築した上板橋第二中学校に整備された。今後改築を予定している志村小・志村四中小中一貫型学校、上板橋第一中学校にも同様の図書館整備を計画している。

#### 上板橋第二中学校

生徒が通る廊下からもアクセス可能



回転する本棚

生徒が腰を掛けられるクッション



手前側に図書館

昼休みの様子



#### 生徒たちの声

- ・ 昼休みはほぼ毎日学校図書館に来ています。談笑できるスペースがあるので、友達と話しています。オープンなつくりになっているので、友達と集まりやすいです。
- ・ 図書室に集まって談笑できるスペースと、静かに読書をするスペースがそれぞれあり、両立することができているところが良いと思います。
- ・ 本に触れやすいつくりになっているため、自然と本への興味関心が高まります。
- ・ 広くて明るく、本の種類がたくさんあるところが良いと思います。

## 基本方針 2

身近な人々の協力によって、子どもが自由に本と触れ合える環境をつくる

### 2-①

乳幼児期の読み聞かせの推進

### 2-②

小中学校・幼稚園・保育園  
における読書環境の充実

### 2-③

子どもと本をつなぐための  
地域での取組を推進

#### 【施策を進める上での課題】

- ✓ 年齢が上がるにつれ、不読率が上がり、  
中学生は小学生に比べ不読率が高い。
- ✓ 中学生は部活などで多忙で読書の時間を  
確保できない。
- ✓ 学校図書館を「利用していない」と  
回答した中学生は59.5%。
- ✓ ティーンズ向けの展示やイベントが読書  
へ有効的に繋がっていない。

#### 【今日のテーマ②】



## ティーンズ世代に 有効な取組

# 基本方針 3

## 多様な子どもたちに適応した読書に関する制度・施策を整備する (読書バリアフリー法の考え方を含む)

### 3-① 多様なニーズに対応した 資料の充実

#### 既存の取組

- ・ バリアフリー資料の貸出及び資料の充実、提供
- ・ 多言語資料の充実

#### 意見

- ・ 中央図書館がバリアフリー資料等を用意し、学校等にも提供
- ・ 外国語を母語とする方への対応の拡充

### 3-② 新しい技術を導入した 読書環境の整備及び 図書館の使い方を提供

- ・ 電子図書館（電子書籍）の導入と資料の充実、提供

- ・ 電子図書館（電子書籍）の児童書パッケージの積極的な授業活用
- ・ 電子図書館（電子書籍）有効活用事例を効果的に子どもたちへ発信

### 3-③ 安心して学べる場の提供と デジタルリソースへの アクセスの確保

- ・ 図書館内での学習スペースの提供
- ・ 図書館ホームページの充実・SNSの活用

- ・ 静かな場所、グループ学習ができる場所、落ち着いて読書ができる場所の確保
- ・ GIGAスクールスペースの活用
- ・ 障がいのある子どもも、周りを気にせず利用できる場所づくり

# 基本方針 3

## 多様な子どもたちに適応した読書に関する制度・施策を整備する (読書バリアフリー法の考え方を含む)

### 板橋区立図書館におけるバリアフリー資料・機材の配備状況（令和6年12月現在）【参考資料10～13ページ】

資料の種類	所蔵数（冊）	補足説明など
LLブック	97	内容を理解する手助けとしてイラストや写真、記号を多く添えた本。
デージー資料	713	通常の印刷物を読むことが困難な方のために作られたデジタル録音図書
点字図書	1,920	
大活字本	13,866	
電子書籍（リフロー型）	11,382	全体の約75.6%。音声読み上げや背景の色反転などが可能なコンテンツ

その他、さわる絵本・布絵本等

機材・道具の種類	所蔵数（台）	補足説明など
デージー再生機	15	区立図書館11館のうち9館で所蔵。貸出は中央図書館の機械のみ可能。
拡大読書器	5	区立図書館11館のうち4館で所蔵。中央図書館は2台所蔵。
音声読書器	2	区立図書館11館のうち中央図書館のみで所蔵。

その他、リーディングトラッカー、車椅子用テーブル、拡大ルーペ等



## 基本方針 3

多様な子どもたちに適応した読書に関する制度・施策を整備する  
(読書バリアフリー法の考え方を含む)

### 3-①

多様なニーズに対応した  
資料の充実

### 3-②

新しい技術を導入した  
読書環境の整備及び  
図書館の使い方を提供

### 3-③

安心して学べる場の提供と  
デジタルリソースへの  
アクセスの確保

## 「読書バリアフリー法」に基づく取組例

【参考資料10～13ページ】



- ・ 1冊の本からさまざまなバリアフリー図書の作成  
「ワンソースからマルチソースへ」 (横浜市立盲特別支援学校)
- ・ 病院にいる子や自宅からの外出が難しい子でも参加しやすい  
「オンライン読み聞かせ」の実施 (一般社団法人 星つむぎの村)

・ 学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム  
(<https://accessreading.org/conso/case/>)

## 基本方針 3

多様な子どもたちに適応した読書に関する制度・施策を整備する  
(読書バリアフリー法の考え方を含む)

### 3-①

多様なニーズに対応した  
資料の充実

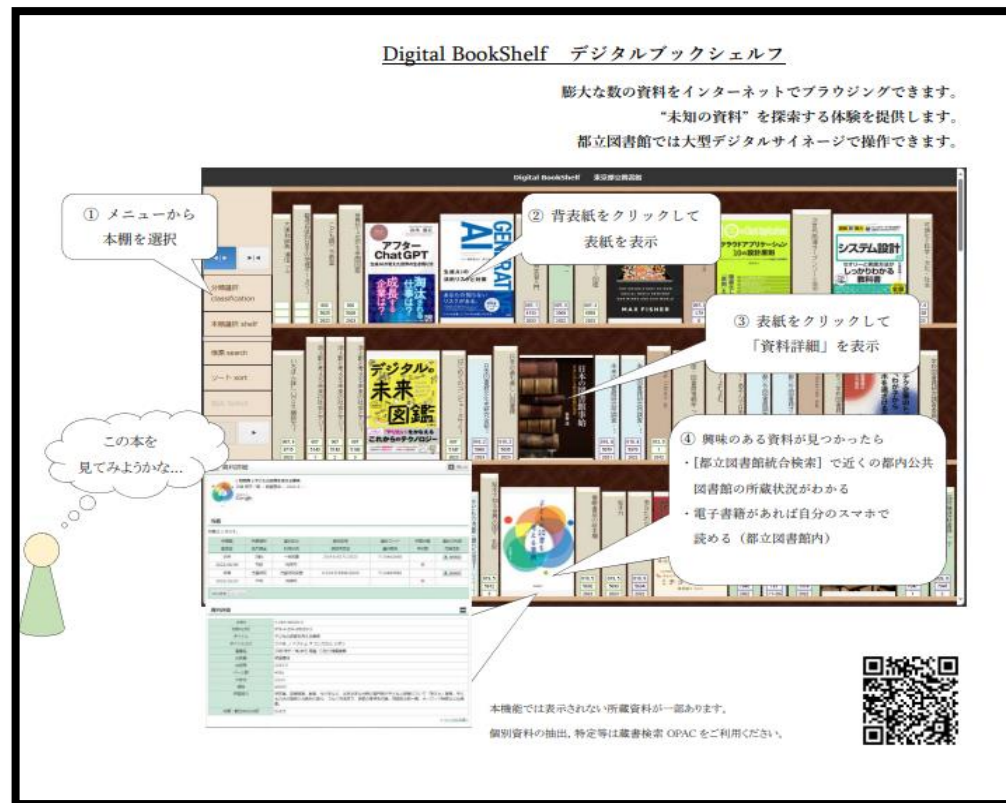
### 3-②

新しい技術を導入した  
読書環境の整備及び  
図書館の使い方を提供

### 3-③

安心して学べる場の提供と  
デジタルリソースへの  
アクセスの確保

## 「デジタルブックシェルフ」(東京都立図書館)【参考資料10～13ページ】



- ・ WEB上で、実際に図書館の棚を見る感覚で本を選ぶことができる。
- ・ 図書館外から、自身のPCやスマホでアクセスすることが可能。

## 基本方針 3

多様な子どもたちに適応した読書に関する制度・施策を整備する  
(読書バリアフリー法の考え方を含む)

### 3-①

多様なニーズに対応した  
資料の充実

### 3-②

新しい技術を導入した  
読書環境の整備及び  
図書館の使い方を提供

### 3-③

安心して学べる場の提供と  
デジタルリソースへの  
アクセスの確保

## 「図書館ブックボックス」を駅に設置（世田谷区立図書館）

【参考資料10～13ページ】



- ・ 小田急線下北沢駅構内に設置
- ・ 図書館の休館日や夜間等でも予約資料の受け取りが可能
- ・ 始発から終電までの間の時間で利用可能
- ・ 導入した製品は『2024年度 グッドデザイン賞』受賞



# 基本方針 3

多様な子どもたちに適応した読書に関する制度・施策を整備する  
(読書バリアフリー法の考え方を含む)

## 3-①

多様なニーズに対応した  
資料の充実

## 3-②

新しい技術を導入した  
読書環境の整備及び  
図書館の使い方を提供

## 3-③

安心して学べる場の提供と  
デジタルリソースへの  
アクセスの確保

## デジタルコンテンツの新規導入

【参考資料10～13ページ】



- ・ 「オーディオブック」の導入（台東区立図書館）
- ・ インターネット公開されている子ども向け電子資料（株式会社Gakken「学研まんがひみつ文庫」等）のポータルサイト化（日野市立図書館）
- ・ 英語多聴多読用システム「コスモピアeステーション」を公立小中学校に導入（愛知県日進市）

・ 台東区立図書館 (<https://www.city.taito.lg.jp/library/service/sonota/audiobook.html>)

・ PRTIMES (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000178.000034798.html>)

・ 日野市立図書館 (<https://www.city.hino.lg.jp/press/1026437/1027517.html>)

・ 株式会社Gakken「学研まんがひみつ文庫」 (<https://gk-himitsu.gakken.jp/>)

・ コスモピア株式会社 (<https://www.cosmopier.com/news/est-crowdfunding-nisshinshi/>)

## 基本方針 3

多様な子どもたちに適応した読書に関する制度・施策を整備する  
(読書バリアフリー法の考え方を含む)

3-①  
多様なニーズに対応した  
資料の充実

3-②  
新しい技術を導入した読書環境の  
整備及び図書館の使い方を提供

3-③  
安心して学べる場の提供と  
デジタルリソースへのアクセスの確保

【施策を進める上での課題】

- ✓ デイジー資料や電子書籍は充実してきているが、有効な利活用の方法に課題がある。
- ✓ 読書バリアフリー法の考え方を含む多様性等に対応した図書館づくりについて検討する必要がある。
- ✓ 先進的な例にも学び、新しい技術の有効活用を模索する必要がある。



【今日のテーマ③】

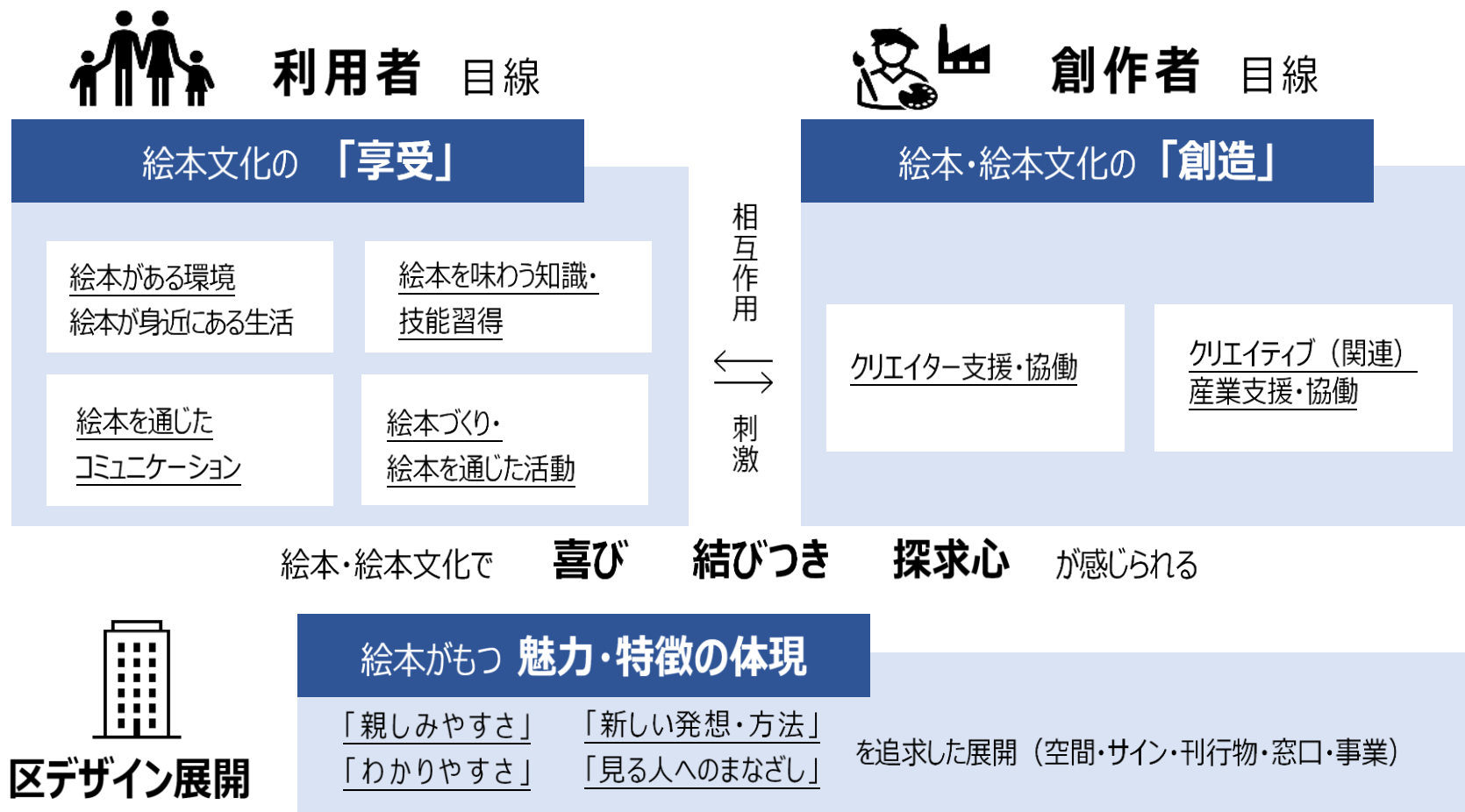
- ・ 読書バリアフリー法を踏まえた  
利用しやすい図書館環境
- ・ 新しい技術を用いた  
先進的な図書館像

**（４） 「絵本のまち板橋」  
の視点を踏まえた読書推進**

# 絵本のまち板橋

## 「絵本のまち板橋」プロジェクトについて

### 「絵本のまち板橋」推進に向けた方向性



# 絵本のまち板橋

【参考資料14～16ページ】

## 「絵本のまち板橋」のめざすもの

- ・ 子どもから大人まで、あらゆる人が絵本に親しみ、絵本を通じて自己、他者そして社会・世界を理解し、交流と活動が生まれるまち。

- ・ 創作者が集まり、交流を通じてその能力が発揮され、新しい絵本や絵本文化が創造されるまち。



区民まつり「絵本のまちひろば」



絵本づくりワークショップ



いたばし国際絵本翻訳大賞表彰式



ボローニャ・ブックフェアinいたばし



# 絵本のまち板橋

## いたばしボローニャ絵本館における推進方針・事業

- ・ボローニャブックフェア事務局からの長きにわたる絵本の寄贈。
- ・子どもから大人まで幅広い世代に、各国の文化・言語・芸術と出会いの場を提供。
- ・3万冊以上を開架する、いたばしボローニャ絵本館における海外絵本の蔵書の活用。
- ・英語絵本の活用方法や選書、読み聞かせの具体的方法、実践を学ぶ場の提供。
- ・日本語以外の絵本への興味喚起。
- ・海外絵本の翻訳を通じた国際理解と文化交流への寄与。



- ・ボローニャブックフェアinいたばし
- ・講演会シリーズ  
「世界の書棚から」  
「私の作ったこの1冊」
- ・英語絵本活用イベント
- ・いたばし国際絵本翻訳大賞